昭和25年7月6日第三種郵便物認可
磐城毎日新聞
昭和25年(1950)10月11日(水曜日)|第119号【日刊・月曜休刊】

磐城毎日

社長　大和田與兵衛
發行所　福島縣平市南町
株式會社　磐城每日新聞社
編集兼印刷發行人　遠藤孝倫
電話(平)一二一〇番

募金七十萬圓に達す

平市は四割、郡部三割強

平市に於ける共同募金の成積は九日現在で總計十八萬七千八百九十六円で、その募金内譯に戸別訪問五万八千三百四十八円、街頭募金(五ケ所)は十二万九千五百四十七円であつて戸別訪問による募金割當完遂區域は南白銀、北目、四ツ波、北一、三、五丁目、胡摩澤、白銀の八區域で市割當目標の四十三%である

石城郡下の九日現在共同ぼ金成積は割當目標が一百七十九万四千円のうち昨年度發行したお手玉付葉書の賣上が九万九千円あるので實際の募金目標は一百六十九万五千円であつてぼ金總計は卅一・四%の五十三万二千九百八十三円で目標割當完遂町村は二日泉村の四万三千九百圓と九日植田町の七万六千六百円の二町村

(森)田畑、大井川縣議外一行六名、平市石城郡下の二十五年度に於ける耕地關係災害實情調査のため十日朝來市、平市役所、石城地方事務所を訪問、打ち合せの上同日午前中平市内上荒川下荒川両部落草木川流域、三阪、澤渡兩村の災害視察を行つた

黃色な聲で「協力を」

街頭募金既に十三万円

赤い羽根平市の共同募金割當て三十四万円對し市内各學校生徒によつて街頭募金された今日までの總計は十三万円に達してゐる、各學校生徒が連日街頭に立つて街ゆく人の浄財が赤い羽根と取替えられるために黃色い聲で共同募金に協力を願いますと叫ばれてゐるのだ最初から見るとみ入りの額も少くはなつたが理解ある篤志家によつて目標の半額は達成されるであらうと市當局では見込んでゐる

＝千草洋裁學院の街頭募金隊＝

皇太后陛下

今日平驛お通過

去る四日宮城、岩手兩縣下蠶絲事業視察のためお通過された皇太后陛下には無事視察を終り本日午後一時廿五分平驛着、鈴木平市長の挨拶あり後七十才以上の高齢者百余名各官衙、婦人團体、片倉製絲會社糸姫百余名の歡送迎裡に平驛を同卅一分通過された

双葉郡は十五日まで完了か

双葉郡の共同募金割當額は五十五万二千円で目下目標額突破に運動を展開してゐる、來る十五日までは完遂する方針で各町村では戸別募金に動きかけてゐる

縣土木委員災實地視察

縣議會常任土木委員の木田

土木建築設計請負
磐城土建工業株式會社
社長　强口唯七郎
平市小太郎町
電話五九・六二・一〇三四番

文化講座五小校で開く

平市社會教育委員會主催の文化講座の第一回は九日午後二時より第五小學校に於て開催し鈴木市長、長谷川教育課長の臨席、聽講者約七十五名で鈴木市長の挨拶後西牧第五小學校長の道德教育吉屋貞一氏の科學に關する講演があり午後四時盛會裡に終了した

學校入札協議

小名濱町第二中建築委員會は本十日午前九時より役場會議室でひらき指名請負者を決定して公入札にふすことになつた、資格審査の上適格者をきめ可及的に地元他町村からも參加出來る事となるのでその協議會は議論も沸騰するものと見られて居る

未復員者給與十月分支拂う

石城地方事務所民生課では十七日午前十時から午後三時まで未復員者特別未歸還者の十月分俸給及び扶養手當金の給與留守宅渡金の支拂う

・・・・平商高運動會　十四日午前九時同校々庭に秋季運動會を開く

市民の要望容れて

林道開設實測を始む

平市では舊飯野、神谷両村合併以來兩地區の産業開發に重点を置き計畫をすゝめつゝあつたが既報の如くその第一歩として平市より縣知事宛に八月十日附を以つて舊飯野地區の北白土字中島前を起点として南白土字古宿を經て夏井村大字菅波に至る延長千五百米、舊神谷字東作を起点として上片寄字矢田の目に至る延長二千米(幅三米六〇)の林道開設につき陳情書を提出中の處縣當局に於てもこれを採擇し九日縣土木課技師出張、同日午後大塚土木課長と共に鹽北白土事務囑託員、江尻南白土事務囑託員、菊地飯野支所土木係託員、其の他部落民の案内により舊飯野地區の林道豫定地を視察し十日急用のため歸廳したが同技師は近く再び出張し舊飯野、神谷両地區の林道豫定地の測量を行う事となつた。

煙草泥一味送檢さる

平市仲町無職妻木乙彦(二七)は市内鎌田無職須藤昌(三二)と共謀去月二十八日午前一時半ころ市内田町常磐交通消費組合賣店に侵入、同所からゴールデンバット百六十ケ、光二十五ケ、五千八百円相當を窃取、市内鎌田無職猪狩一幸(三三)に三千円で賣つた事が判明、妻木、須藤は窃盜で猪狩は盜品故買容疑で十日市署から身柄送検、なお妻木は去月二十日ころ平驛前高柳病院前から中古品自轉車一台を盜んで居るが現在まで所有者不明で市署では被害者の早期届出を望んでいる

病苦から老人の縊死

赤井村淺口農阿部吉松(六九)さんは九日午後五時ころ同村常住地内自家畑中の小屋で首を吊り死亡してゐるのを發見された、病氣を苦にした遺書があつたが嫁の手に世話になつている事を常に氣にしてゐた

勞働衛生の標語

入選者今日發表さる

縣衛生管理者協會平支部では十日から十七日の一週間全國一齊に行われる勞働衛生週間の標語を各職場から募集中だつたが九日平勞基署で應募作品百六点の選考の結果

一等＝衛生は日毎、人毎、職場毎＝常磐炭鑛製作所草野三郎(三一)

二等＝揃つて健康明るい職場＝日本水素渡邊豊美

同＝治療で泣くより豫防で笑い＝呉羽化學中田壽造

佳作＝隅田川炭鑛園部一郎さん外七名

がそれぞれ入選した、なお勞働衛生週間に於ける標語募集は今度が最初と言われてゐる

資金貸出し開始

勞働者の更生機關發足

縣勞働者更生資金五百万円は縣信用保證協會に委託され賃金遅拂のある企業者をして勞働者に融資されることになつたので去る七日から第一回融資申込を受付け十二日で締切り廿七日開かれる審査委員會にかけて融資決定される、特別審査委員には勞働者代表、縣會代表、縣廳代表が各一名宛參加、勞働者の立場から公正な運營を計るもので縣内に工場事業場を有する中小企業家が賃金の遅拂い又は未はらいが現に發生し十五日以内に支はらうことの出來ないもの、融資回收の見込みある者となつて居り金額は最高一千五十万円である、希望者は勞政事務所え申込めばよい

持ち逃げ捕る

住所不定無職本郷利明(一八)假名は九日午後一時半ころ市内常磐交通驛前待合室で待合客の風呂敷包一ケを盜み逃走したが同一時四十分ころ白銀町鐵道官舍附近で市署員に逮捕された

獅子舞復活

國寶阿彌陀堂で

内郷町白水國寶阿彌陀堂では十年振りに獅子舞を復活して來る十五日奉納式を擧行する、獅子舞は鎌倉時代から昭和十四年まで續行して來たが十五年の願成寺火災のとき獅子頭を燒失して中絶していたがこの程同町の佐々木幸之助氏が獅子頭及び附屬品一切購入奉納したので歴史的な郷土藝術が復活、地元青年によつて獅子舞が演じられる事となつた

双葉郡内秋繭好調

双葉郡内初秋蠶掃立て農家は一千三百八十五戸で收繭高一万五千百廿六貫で總額一千五百万円が各農家にころげ込んだことになる

商狀、經濟欄

【青果市況】丸サ市場

なす	六〇—四〇円
きうり	一二〇—一〇〇円
ねぎ	一二—八円
玉ねぎ	七〇—五五円
ごぼう	一三〇—一〇〇円
人参	二五〇円
大根	四五—三五円
菜類(一把)	三—二円
ほうれん草(一把)	一〇—七円
にら(一把)	三円
里いも	七〇—五〇円
さつまいも	五五—四〇円
葉しようが	一五〇—一〇〇円
やまといも	二〇〇円
枝豆	四五円
みようが	一五〇円
柿	一〇〇—六〇円
平栗	一五〇—一二〇円
なし(長十郎)	一〇〇—八〇円
ぶどう	三〇〇—二〇〇円
りんご(四貫入)	一〇〇〇—六〇〇円

市況—入荷多く活潑

丸一魚市場定休日で鮮魚相場立たず

小名浜港水揚

九日現在

小名濱町魚市場水揚げとなつたサンマ漁は追日其數量を増加し、番取丸水野良吉氏町有船は二万五千貫の水揚げをなし濱相場百五十円を數え比佐政種氏の所有船亦二万貫、更に廻船も寄港玆暫くサンマの山を比しサンマ人氣を湧かして居る、是れが爲め傳道船の鰹漁は薄らぎ底曳も隨つて減量の有様であるが八日夕賣の水揚げは左の通りである

はも	二五〇貫
ひらめ	七〇〇貫
ぎんはも	三七〇貫
大金と	二五〇貫
ほんさめ	一〇〇貫
たこ	一四〇貫
中ひらめ	四五〇貫
かつを	四三〇貫
小かつを	二五〇貫
かんぱ	二〇〇貫
ちば	一五〇貫
さば	七〇貫

以上三千三百六十貫で中漁と云ふ處だらうかサンマにはとても及ばざる事甚しい

【株式市況】磐城證券十日前場

見送り人氣に閑散だが小確り商狀で底固さを見せている、出來高概算五〇万株であつた

鐘紡	一四三	十條紙	一八三
日清紡	二九五	本州紙	一三五
呉羽紡	一三六	日セメ	七八
日東紡	一二五	磐城セ	一六三
片倉	六三	小野田	一三五
帝人	一六八	不動新	三四〇
東洋レ	一四三	陽和不	一七一
新光レ	三三四	開東不	—
山パル	一八〇	三越	三九三
東海上	三〇七	日麥酒	一九五
新郵船	一七四	朝麥酒	一九五
三井船	一三九	キリン	二一五
日發	三三・五	寶酒造	一三三
三井山	四三	野田醬	一八五
日石	六八	豊年油	一〇八
三井造	一六三	高壓	四七
日立	三三	日産化	五五
鋼管	七七	呉羽化	五三
東洋紡	三三	苫小牧	一六七

冬の御用意！
衣食住の「衣」が
一番先です

1 夏物を整理致しませう
麻洋服、婦人服、白カスリ
—パナマ等

2 冬の準備を致しませう
冬セビロ、オーバー、ネクタイ、和服洗張と丸洗
毛布、中折等

學術共に併行する當店へ
クリーニング
ナガヤマ
平市大町　電六〇六番

サンキュー　三九　三休さん！
サンキュー　ありがとう！
(食料品　雜貨　藥品)
佐々木商店
平市鍛冶町　電話503番(呼)

矢吹醫院分院
成圭堂醫院
胃腸科
內科
小兒科
平市鎌田　電話1295

磐城名産
鰹節
塩辛
皆様の魚店
丸市屋
平市四丁目
電話二一一三番

呼吸器科
胃腸科
小兒科
後藤醫院
平市古鍛冶町(縣社下)
電話一〇三六番

秋冬の註文洋服
洋服仕立最高技術
最高級品……安値
本年流行の生地……
茶、立縞、グリーン立縞、紺無地
茶、ネズミの無地、斜織オーバ地
渡邊洋服店
平市二丁目紅小路
電話九五七番

急募!!
見習看護婦若干名
性病科
外科
內科
泌尿器科
草野醫院
小名濱町本町通り
電小名九九番

くすり
今日も元氣で
電四〇
平四
関内薬局

地代金拂はねば競賣

縣强硬態度に關係者狼狽

小名濱築港附屬縣有地は本年四月土地使用者に拂下げをなしたがその後拂下げ代金は分割拂や未納者が多く縣豫算の經理上支障を來たした結果、小名濱港務所をして十月卅日完納しない場合は拂下げ土地の競賣處分に付すと云う强硬な態度に狼狽した大口拂下を受けている日本水素、臨港鐵道、港灣會社を始め代表一十余名は九日港務所に押かけ青木所長に競賣反對、利子半減、支拂期限を二月まで延期等の項目をあげて陳情した、青木港務所長は縣の意向をうかがつたうえで善處すると語つた

九月出炭五千瓲下廻る

平石炭事務所管內九月中の出炭量は割當目標廿三万トンから五千五百トン下廻る廿二万四千五百十八トンであるが、八月中の出炭十九万五千トンからは四万トンの增炭となつて平常の出炭狀態にかえつて來たが依然として貨車廻りの不調から九月の送炭量は十九万六千トンで八月の貯炭十九万五千トンから九月の貯炭は廿二万三千三十二トンとなつてゐる

明年の麥供出額

增産計畫で三割增は重い

縣では食糧自治体の確保强化を計る全國的食糧增産運動の一環としてこのほど各地方事務所あて二十六年度麥類生産目標を指示して來たがこれはよると石城地方事務所管內では二十五年度生産目標六万六百十五石を二十六年度は七万七千七百四十五石で今年度の二割八分强となつている、同事務所では十日早速右目標額に基づき管內一市二十九ケ町村に割當て目標數の確保に万全を期す

山形バツピー

對常磐野球戰

常磐炭礦野球部は本年度東北代表として後樂園の都市對抗戰に駒を進めた山形ハツピーを迎えて十五日午前十時より磐高球場、午後二時より淺貝球場で二試合を行う事になつた

港涉協會總會え

小名濱町長一行出席

小名濱町の年中行事の一ツとして數えて來た港灣協會の總會出席は愈々十日二十三時半平驛發急行で出發と決定した、明年度豫算が本港灣の死活問題となる重要性を帶び居るので港灣協會の力がどれだけの協力性を有するかを試驗せんとする本町に取つては生死の境目にあるので港灣對策委員長立花秀吉氏は小野町長としつかり手を握つて總會席上に大獅子吼するために其後員として議員總員の出席となつたもので小名濱町としては內務省時代昭和二年十一月重要港灣の指定運動に協會の協力を得た時と同樣の權威を持つ重大性を覺悟して臨席となつたもの

二百五十圓豫想

生産コスト高の木炭

木炭の需要期に入つて新規格による郡下九月中の木炭生産高は八月六万四千俵を二千六百俵上廻る六万八千俵の生産高を示しているが生産地の原木は昨年より少くなつているので深山元で生産しなければならないため輸送費がかさみ、生産意慾があつても資金不足で思ふ様に原木を入手出來ないところにもつて來て木炭の卸業者は今後の値上りを豫想して大量な買だめの傾向さえある、木炭價はクヌギ二百卅円、ナラ二百十円と平均十五円の値あがりをみせて居り、二百五十円台をの相場が見越されている、又今月の生産高は七万俵を突破すると豫想されているなほ昨年九月の木炭生産量は六万三千七百俵であつた

海上保安部廳舎近く新築

小名濱海上保安部は漁業協同組合や舊海洋青年學校に借家住いをしてゐるが事務運營上支障あり豫てより新廳舎の建設を計畫中のところ百坪以內の廳舎用地を選定するやう通知に接したので目下豫定地を物色することになつた、これによつて愈々新廳舎の新築も眞近く迫つた譯

就勞拒否されて泣きつく

內郷町自由勞組員山崎晃(三三)は八月九日內郷町紹介出張所に於て鈴木失保課長に暴行脅迫した事により正常な紹介業務を阻害した理由で失業對策事業不正就勞者排除法の初適用により無期限就勞拒否を公示されたが九日午後二時ころ平職安に佐藤所長と面會、檢事さんにでも話して刑務所にでも入れてもらわれば飯の喰い樣がない、何とかしてもらいたいと喰い下つたが佐藤所長は實狀を汲み一應內郷町役場に生活保護適用について話して何とかしてもらう樣職安としても考慮する旨解答、なお同人の現在までとつて來た行爲についても强い反省をうながした

人身賣買容疑で取調べ

平勞働基準監督署では內郷町高坂字台日雇大竹利雄(二七)を人身賣買、兒童福祉法違反容疑で九日から調査を始めた、大竹は九月初旬同町日雇吾妻ユキさん次男久仁孝(一四)を千葉縣二宮町下飯山滿農小川潔氏に斡旋したもので同人については平職安所でも紹介法違反容疑で調査を進めてゐる、なお此の種の不法紹介斡旋は他にも四、五件ある見込で平勞基署及び職安所では內々調査に乘り出した

隨想 「優秀官吏」

東北地方の昨年度の徵税成績は一〇〇%を上廻つた成績を上げたということである、そうすると國家豫算以上の税收のあげた事になり豫算に大部餘りが出てくる事になるわけであるが、よくしたもので其の分は關西方面が八〇とか九〇%とかの成績で全國をバランスすれば税收は豫算通りであつたということである、何のことはない、關西人の税金を東北人が代つて支拂つてやつているようなものである

このことは東北人の生眞面目な性格と關西人のチャツカリした性格をよく現はしていて面白い、亦それだけ東北の税務官吏が優秀であつたということにもなる、この場合の優秀であつたということは政府に對してであり民衆側からは賞めた話ではない、いや官吏は國民の公僕であるというデモクラシー國家に於てはこの樣な行き過ぎた優秀官吏は迷惑な存在である

昔ある大名があつた、その年は大豊作であつたので百姓達は皆年貢米を割當よりも多少多く上納した、多少づつではあつたがつもり積つて相當の俵數になつた、係りの武士が得意滿面その事を大名に申し上げた、大名はその武士をたしなめて早速餘分の米を百姓に返させたという、お城は豫定の年貢米があればよろしい、必要以上の數量をもつていると公園の早船のような惡武士が出て來てつまみ食いされないとは限らないからと云つたかどうかそれは解らない

然しその大名は永く英邁の大名として農民の氣憶に殘つたことは云うまでもない

税務官吏の成績が徵税額の多い程優秀であるとした考え方から彼等は自已の成績を上げるのに汲々とした、そのとばつちりを受ける國民はたまつたものではない豫定額以上の成績を上げた官吏を叱る大名の話のような英邁な官吏は居らないものか、或は今年も何處かに一〇〇%以下の成せきの地方がある事を豫想して東北地方はその穴埋めにされるのか納税者の身になれば納得の行かない考え方である

移動動物園

三十米道路に

日本移動動物園では來る十四日より二十二日迄九日間平市三十米大通り平病院横で戰後當地方初めての動物園を開催する、尙動物は体重四十八貫、身長四米の大わに三頭始め熊、アザラシ針ネズミ等十數頭で兒童の生きた教材として人氣を呼ぶことであらう

睦會分會飯野に結成

平市舊飯野地區の未亡人は相互扶助の機關として平市睦會の分會結成準備中の處九日午後一時より飯野支所會議室に於て來賓とし鈴木平市長、金成睦會長等臨席會員十七名出席し分會結成式を擧げた、所屬會員やく三十名で分會長に松崎ヤス子が就任した

のど自慢大會

久の濱町で

久の濱町文化研究會では町當局と協力、NHKのど自慢大會誘導運動を强力に進めていたが功を奏し來る十一月三日同町小學校講堂において錄音のど自慢大會を開催することに決定、其の準備に大童である

小豆種の詐欺

四ツ倉町蛽川無職箭內紋治(四二)は去月勿町窪田菓子商鹿島清造さんからアズキを買つてやると五千円を騙取した容疑で九日正午ころ綴驛附近をハイ廻中內郷署員に逮捕された

サンマ水揚十万貫

江名港まさに銀鱗の山

江名町中之作吉田德太郎氏所有サンマ船開運丸(五〇トン)は一万五千貫、同町北町佐藤巳之藏氏所有辰巳丸(四〇トン)は一万一千貫を積んで江名港、中之作港にそれぞれ入港、水揚した江名町では此處三日間に十万貫に登るサンマの大量水揚に積出し車馬の頻繁で往來はうつかり歩けないほどなお目下のところサンマ漁に釜石沖で水揚貫、當りは百四十円ー百五十円と言うところだが此の分では百円台まで下るのも近いと言われてゐる

ニツタク杯

爭奪卓球大會

來る廿二日午前九時より磐高講堂において第一回ニツタク杯爭奪卓球大會を磐城校長協議會中學校部、磐城スポーツ連盟主催、日本卓球株式會社、大塚運動具店後援の下に開かれる、競技方法は△中學校の部=軟式によるチーム戰(男女別)で四シングル、一ダブルスの三点先取法トーナメント、(四名乃至六名にて編成)△高校の部=硬式による個人戰(男女別)トーナメント△一般の部=中學校の部と同じで有資格者は市郡中學校生徒、高校生徒、市郡一般社會人(專門學校、大學を含む)となつている、參加料は無用、申込みは十八日必着で磐城スポーツ連盟え當日は全日本硬式卓球のランク保持者巴保春、四十榮幾治の兩氏の模範試合が公開される

小名浜通信

小名濱町役場は字堀川北即ち渚、岡小名線、小名濱湯本線との十字路第一中學校の東北に面した地点を撰ばれ敷地の買收を終り、建築計畫が敷地問題から足踏中であるが、二十六年度は勇を皷して建設しないでは何時迄も學校舍の借家ば其の筋よりの發逹によつて引拂いを命ぜられて居る關係から萬難を排して建設の運びとなるものと見られて居るが、既にこう極まると變なもので其の附近一帶が役人町が出來そうだ、先づ長瀨助役であるが字下町と云う邊卑な處に生活して居たのであるが、これを賣却して平家建三十余坪の新家屋を町役場南方に向つて建築に着手した、其の手前軒をつらねて町議で司法書士である處の金澤勉氏も舊家屋を買却して新家屋の建築に着手し已に敷地の地ならしが完了され、木組中であるから程なく建築に這入るであらう、助役長瀨氏を挾んで町役場庶務の立花周平さんは借家住いにあきが來たのだらう、助役より一日早く建前をやつて居る、土木課長の馬上逹三さん亦役場敷地北方に地を相して建築の計畫中だから廳舍を中心にして住宅の建設さるゝ事は雨後の筍の觀がある、そして廳舍はどうしても建築を見る事になるのは必條だ財務の小島谷治さんも助役と立花君の中間に建築することになると愈々役員の住宅町と化したるので町民の口さがないともがらは何れも役場のお役人は「金廻りがよいですな」と驚異の眼を見張つて仰天の樣であるが何も知らむ何れも住宅公庫のお世話になつて居る事をサラリーでは住宅など自力で建つ理由は何處にもないとそらうそぶいて居るけな

列車で時計すられる

宮城縣亘理郡山下村字高瀨會社員伊藤永信(三〇)氏は十日平驛午前三時四十八分下り青森行二一一列車が新地坂本間を進行中車內洗面所で時計一ヶ時價三千圓相當をすられた

戸籍錄

婚姻 九日平市古鍛治町星野松男(三三)氏同町會田喜美(二二)さん△五日茨城縣稻敷郡奥津村木幡弘(三三)氏平市研町山田ユキ(二二)

出生 三日平市久保町鈴木賢司氏四男政光さん△廿八日同白銀町鐵道官舍高橋茂氏長女れい子さん

死亡 六日平市紺屋町塙キヨ(五二)△七日內郷町御厩宮川涉(六七)△七日平市禰宜町河田造酒太郎(七五)

JOCP ローカル郡山 10HQ 11日

前7時15分 心の灯、錄音ラクーア音樂傳導團

後6時30分 家庭と婦人=座談會生花を語る=郡山華道教授連合會長鈴木晴海外

今日の天氣

(十日十一時現在)

十日晩は北寄りの風曇勝ちで所に依り小雨のパラつく天氣でうすら寒いでせう、十一日は北寄りの風、雲の多い天氣で朝夕は一時しぐれますが日中は幾分良くなり時々晴間も見えませう、十二日も大体同樣の天氣、海上は玆二、三日おだやかですが十一日午前不連續線の通過で多少波立ちませう

製粉と製めん
季節の味!!!
杉ノ澤 永島製麵所
工場 平市杉野澤 電1094番 出張所 平市田町丸通裏通り

大衆食堂
汽車の御待合せ
御買物の御歸りに
御氣輕に御利用下さい
そろそろ熱カンの季節です。左黨の方は御座敷風食堂で一杯いかが!!
さかえ
平驛前東角

本場 自慢 牛豚肉
愈々肉食の季節が參りました!!
第一緑屋 電五三九
第二緑屋 電七九四

うまい!!! 安い!!
好評のシュウマイ
中華そば
和食・洋食
三丁目
平会舘
電六二四

新らしいミルクプラント
いつも新らしい良い牛乳
川角の牛乳
平市下平窪 川角牛乳店

空然にして絶後二度と再び
見られぬ獰猛人喰ワニの群
日本動物園來る!!
南米アマゾン河の秘境に永年せい息して幾多の尊い犧牲者を出さしめた年令三十才体重四十八貫身長四米の巨体を持つ人喰大鰐三頭を始め熱帶寒帶の諸動物大擧來平す
入場料 大人三十円 小人二十円
三十米道路
場所 平市平病院横
日時 十四日より廿二日まで
主催 日本動物園
後援 磐城毎日新聞社